

スタジアムと 昨今のスポーツビジネス

庄子博人
同志社大学スポーツ健康科学部助教

国家戦略としてのスポーツ産業

スポーツの成長産業化への期待

日本再興戦略2016

官民戦略プロジェクト10
新たな有望成長市場の創出
スポーツの成長産業化

未来投資戦略2017

目標
施策

KPI

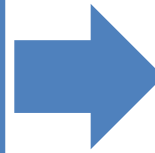
- スポーツ市場規模拡大
5.5兆円(2015)
→15兆円(2025)

- 未来投資戦略2017
多様な世代が集う交流拠点となるスタジアム・アリーナの実現
2025年までに20カ所の実現を目指す

これまでの日本のスタジアムと スマート・ベニュー®

課題

- ・単機能
- ・行政主導（公設公営）
- ・郊外立地
- ・低収益性



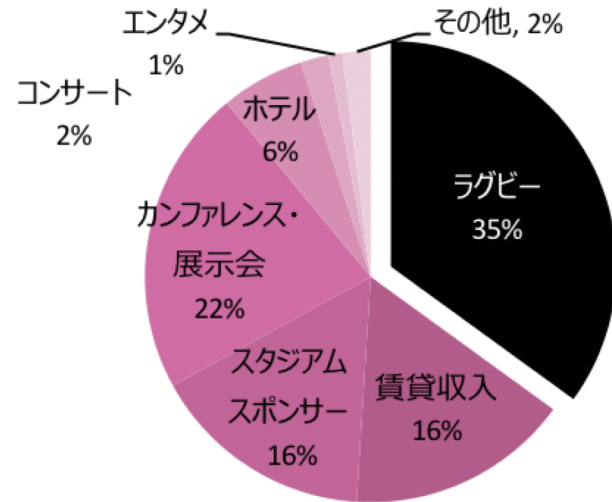
解決策

- ・多機能型（商業施設複合型）
- ・民間活力導入
- ・街中立地
- ・収益性改善

出典）日本政策投資銀行「スマート・ベニュー®研究会報告書」

スマート・ベニユール[®]の事例 Ricoh Arena

収入構造



Armstrong (2015)

- 竣工年：2005
- 座席数：32,609
- 建築費：約187億円（£ 113.3 million）
- 所有者：Wasps Holdings Ltd.
- 運営者：Arena Coventry Ltd.
- テナント：Wasps RFC
Coventry City FC

コベントリー人口 約30万人
訪問者：120万人／年
イベント：642／年

ラグビーチームによる運営会社の買収（2014）
スタジアム駅の完成（2015）
ホテル増築、トレセン、新レジヤール施設

スマート・ベニユー®の事例 Ricoh Arena



現地で庄子撮影

スポーツ産業 2011-2014

(単位:億円)

	GVA (粗付加価値)			
	2011	2012	2013	2014
スポーツ産業	66,416	63,294	65,797	67,011
成長率 (2011を100%)	100.0%	95.3%	99.1%	100.9%
国内産業全体に占める割合	1.39%	1.36%	1.39%	1.40%

※GVA(粗付加価値) = GDP + 家計外消費支出

出典) 日本政策投資銀行「わが国スポーツ産業の経済規模推計～日本版スポーツサテライトアカウント～」(2018年3月公刊予定)
出典) 日経地方創生フォーラム「官民連携・地域連携で実現する地方創生」講演資料

スポーツ産業 産業分類別(単位:億円)

	2014年		2014年
農業	416	ホテル・レストラン	1,755
食品飲料	1,254	陸上輸送	1,304
繊維	77	海上輸送	92
アパレル	254	航空輸送	31
出版サービス	1,138	旅行代理店	481
石炭・石油	1	情報通信	1,409
医薬品	129	金融仲介	307
ゴム製品	78	保険	141
各種金属製品	169	機械設備のレンタル	659
機械設備	47	研究開発	431
自動車	22	広告、ビジネス活動	224
ボート/航空機	2	教育	11,796
自転車	262	健康	630
スポーツ用品	920	スポーツ活動	27,108
建設	1,199	電力・ガス・水道等	644
自動車のメンテナンス	131	その他製造	750
卸売	4,213	その他サービス	2,406
小売	6,530	合計	67,011

出典) 日本政策投資銀行「わが国スポーツ産業の経済規模推計～日本版スポーツサテライトアカウント～」(2018年3月公刊予定)

出典) 日経地方創生フォーラム「官民連携・地域連携で実現する地方創生」講演資料

英国との比較

2011年平均 127.934円/ポンドで換算

	2011年日本		2011年英国		産業全体比 の比較
	スポーツ	産業全体比	スポーツ	産業全体比	
GVA (億円)	66,416	1.39%	46,278	2.60%	0.54倍
雇用 (千人)	1,011	1.52%	991	3.60%	0.42倍

- 2011年時点では、GVAと雇用ともに絶対値では日本の方が大きい。
一方、産業全体に占めるスポーツGVA・雇用の比率は半分程度の水準。
- 英国に対して割合が低い産業は拡大の可能性がある。

英国2012年ロンドンオリ・パラ大会までのスポーツ産業成長率

	2005 (%)	2006 (%)	2007 (%)	2008 (%)	2009 (%)	2010 (%)	2011 (%)	2012 (%)
スポーツ産業の成長率 Sport GVA growth	6.2	4.7	3.3	2.6	0.4	14.5	10.4	4.4
国全体の成長率 Total GVA growth	5.9	5.9	5.5	3.1	-1.7	4.1	2.9	2.4

出典) UK Sport Satellite Account,2011and2012 (Department for Culture Media and Sport, July 2015)

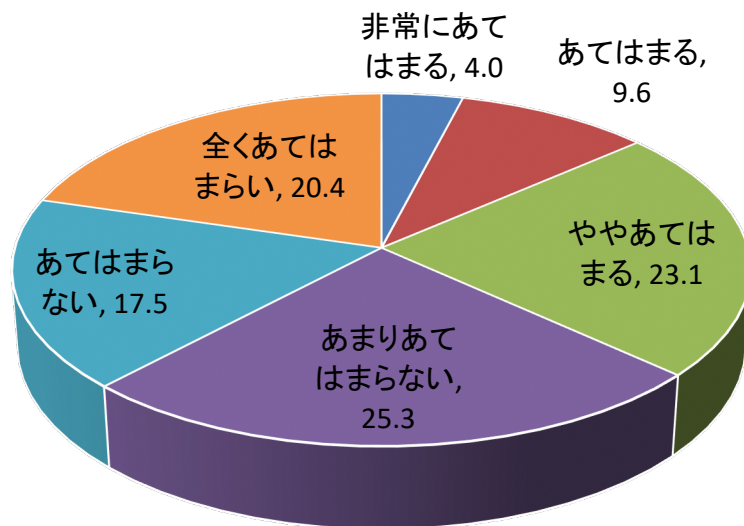
英国 2004-2012スポーツ産業の成長率(産業項目別) (抜粋)

	2010-11 (%)	2011-12 (%)	2004-12 (%)
建設	-18	-36	152
情報通信	20	13	134
金融仲介	28	4	106
研究開発	70	-5	100
ゴム製品	63	58	96
機械設備	10	25	73
広告、ビジネス活動	4	6	62
保険	103	9	57
健康	21	10	53
医薬品	20	5	48
ホテル・レストラン	19	4	48
スポーツ用品	37	-6	33
革製品・靴	17	-8	22
教育	6	-3	21
食品飲料	-11	-6	19
アパレル	22	2	18
出版サービス	18	-1	1
小売	-21	2	-6
卸売	-10	-3	-12
自転車	8	-29	-21
農業	20	8	-25

出典) UK Sport Satellite Account,2011and2012 (Department for Culture Media and Sport, July 2015)

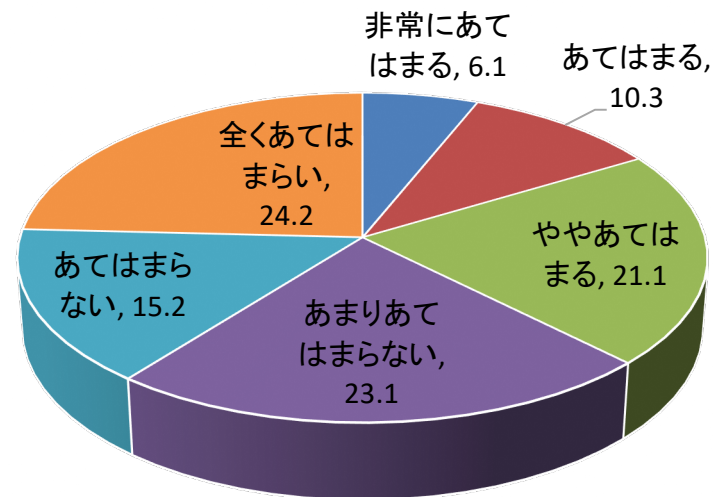
球技専用スタジアムに対する需要(A市調査)

スポーツ観戦できる球技専用スタジアムがほしい



「ややあてはまる」以上の合計
36.7%

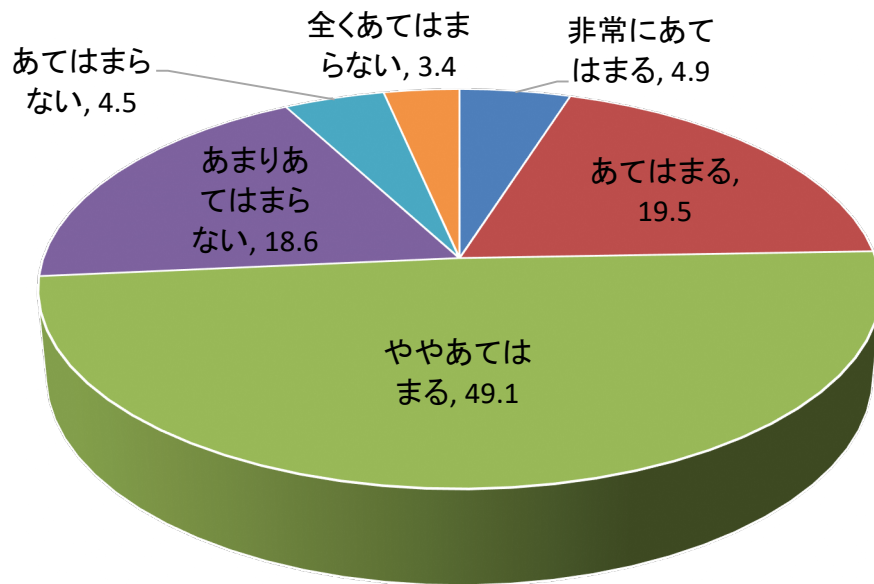
サッカー・ラグビーアメフトなどの種目を直接観戦したい



「ややあてはまる」以上の合計
37.5%

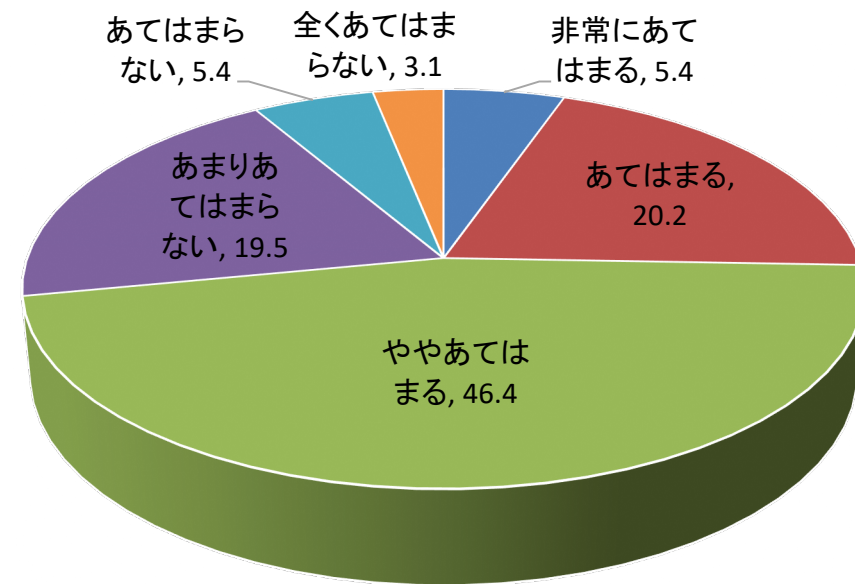
スマート・ベニユール[®]に対する評価(A市調査)

公共的な施設が集約されることによって、この場所の価値が高まる



「ややあてはまる」以上の合計
73.5%

公共的な施設が集約されることによって、より多くの人々が利用しやすくなる



「ややあてはまる」以上の合計
72.0%

まとめ

- 政府の戦略としてスポーツ産業の成長化
- 日本のスポーツ産業は、英国と比較しても、成長余地がある。
- スポーツ産業の「金融」「情報通信」「旅行代理店」など、**新たな産業分野**が成長する可能性がある。
- スマート・ベニュー[®]（多機能複合化）することは、単体の施設よりも市民の評価が高い。